

# 『社保病院 使途不明金調査「川崎」は対象外』

社保病院

## 使途不明金調査

## 「川崎」は対象外

全国の社会保険病院のうち少なくとも4カ所で計約5億円の使途不明金が判明している問題で、今年4月に民間譲渡される川崎社会保険病院（川崎市川崎区田町）の会計処理については調査対象になっていないことが4日、分かった。川崎市は、同病院に補助金を出していることから、実態調査を求めていく方針。

調査は、同病院を保有す

るなどしている独立行政法人「年金・健康保険福祉施設整理機構」（RF0）が新機構に改組するにあたり、RF0が2月まで行っている。使途不明金は昨年末、発覚した。

市は、同病院が報告している決算内容を基に、これまで補助金を出してきた経緯がある。そのため昨年末、口頭で問い合わせたが、RF0から「譲渡が決定している病院は調査対象に含まれない」と説明を受けたという。市地域医療課は「公金支出もあることからRF0の責任において実態を明らかにするよう要請したい」としている。

川崎社保病院は昨年5月の入札で医療法人「葬会」（東京都千代田区）が60億円で落札し、4月1日の引き渡しを目指している。同市市議も「他の病院と同様に財務内容と使途不明金の処理のされ方などについて厳格に調査されるべき」と指摘している。

（西郷 公子）